この学校では、こんな学びが始まる

理数系人材育成支援　多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

どこにいても、「イノベーター理科・数学・情報」

北海道有朋（ゆうほう）高等学校

定時制・通信制／普通科・商業科

この改革が必要な背景

・広大な道内の**多くの小規模校**では、単独で**理数系科目や進路希望に応じた選択科目を十分に開設しにくい。住む場所にかかわらず全ての生徒が理系大学進学を目指せる**体制づくりが急務

・不登校経験や特別な配慮を要する生徒など多様な背景をもつ生徒の増加（令和７年度在籍者数の50%以上）により、時間や場所に制約されない学びや個別の支援をさらに充実させることが必須

事業概要（学びの変化）

理系大学進学を見据えた新設の学校設定科目「イノベーター○○」で実社会や先端技術と結び付けて学ぶ

✓ 理系大学進学を見据え、**「イノベーター理科」「イノベーター数学」「イノベーター情報」**を開設・**遠隔授業配信**

✓ 「イノベーター理科」「イノベーター数学」では「物理」 や「数学Ⅲ」等の内容に加え、**外部の大学教員や産業界の技術者(サイエンスエキスパート)**から、**実社会や先端技術と結び付けた内容**を学ぶ

✓ 「イノベーター情報」では、「情報Ⅰ」の内容に加え、**データサイエンスや生成AIの活用**を取り入れ、物事を科学的に捉える視点を養い、社会が抱える複雑な課題を発見・解決へと導く**高度な情報活用能力**を身に付ける

✓ **遠隔授業の受信校の生徒であれば、どこに住んでいても高度な理数教育**を受けられる

「n.e.x.t.ゼミ」で、自分が選んだテーマの一歩進んだ学びに触れ、次の探究につなげる

✓ 長期休業中に大学教授等が指導する**「n.e.x.t.ゼミ」**として、**サイエンス・リテラシー、線形代数、サイエンス・コミュニケーション**など、**通常授業より一歩進んだ内容**に関する学習を**オンラインで開催**

✓ 生徒が**自らの興味・関心に応じた探究や、卒業後の進路先につながるテーマ**を選んで参加

✓ 関係校の理科・数学教員、大学教授等からなる「理数系人材育成コンソーシアム」で、**生徒自身が活動した内容の成果をまとめ、発表**することで、受信校の生徒同士の相互評価や大学教授等から評価・助言を受け、新たな気づきを得て、次の探究に繋げていく

＜１日の流れ（例）※夕張高校（協力校（受信校））普通科３年Ａさん＞

【9:00】「英語コミュニケーションⅢ」

【10:00】「政治・経済」

【11:00】遠隔授業「イノベーター物理」において、理系大学進学に必要な科目を学ぶ

【12:00】遠隔授業「古典探究」

【13:30】遠隔授業「イノベーター数学Ⅲ」において、理系大学進学に必要な科目を学ぶ

【14:30】「総合的な探究の時間」

高校生の未来の姿（指標の例）

受信校から大学の理系学部へ進学した生徒の割合

（現状）9.3% ⇒ （R10）30% ⇒ （R13）40%

他校への普及方策

遠隔配信の標準化に向け、マニュアル等をパッケージ化した「遠隔授業セット（T-baseモデル）」を開発 等

主な連携機関

北海道大学、北海道教育大学、SBC&S、ZVC、neat、パナソニック　等

（出典）都道府県の提出書類及び生成AIにより作成した画像をもとに文部科学省において作成

類型2

類型3